

#### (4) 学習指導過程

第1時 ねらい——郵便を利用した経験を話し合いを通して、毎日の生活に深い関係があることを理解させる。

主 な 活 動 ・ 内 容	時間	指 導 上 の 留 意 点
1. 問題場面の分析によって、学習課題をとらえる。 (1) 話しあいによって、問題場面を構成する。 ○ 年賀はがきについて話しあう。 ○ 手紙やはがきを出したり、もらったりしたことについて話しあう。 ○ T. P. シート①, ②について、「何をしているのか」「どんなことが、わかるか」話しあう。 (2) 問題場面を整理・統合する。 ○ 郵便のことについて、どんなことを知りたいか話しあう。 (3) 問題場面の分析によって、学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ① なぜ、出したりもらったりするか。              ② どんな、しゅるいがあるか。              ③ とどくまで、どんなしごとがあるか。              ④ どんなことを、めあてにしているか。              ⑤ そのために、どんなことをしているか。           </div>	15分	○ 導入的な役割として展開させ、今後への学習の関心を持たせる。  ○ 知りたいと思うことを発表させ、その中から学習課題を設定させるようにする。  ○ 学習課題をカードで提示するようにし、次時からの学習に発展させる。
2. 学習課題の①について、話しあう。 (1) どんなときに出すのか話しあう。 ○ 自分が出したときのことを思い出す。 ○ 家の人が出したときのことを思い出す。 (2) どんなときにもらうか話しあう。 ○ もらった時のことを考える。 (3) 話しあったことを、まとめる。	10分	○ 到着までの所要日数を通して遠くから来ていることや、離れた所からでも正確に届くことに気づかせておく。
3. 学習課題の②について調べる。 (1) 集めてきた郵便を、分類させる。  (2) どんなふうに分ければよいか話しあう。  (3) T Pシート③について、「何か」「どんなことがわかるか」話しあう。 (4) 分類したり、話しあったりしたことを、まとめる。	10分	○ 郵便物は前もって集めておくように話しておき、本時はそれを児童に分類させる。 ○ 持ってきた郵便物は、はがきと封書、小包に分ける程度にし、特殊なものとして現金書留、航空郵便などがあれば封書の中でさらに分けるようにする。
4. 学習課題の③について、予想をたてる。	5分	○ 転校した児童への手紙を教室のポストに入れ、それが届くか・・・ということを、次時の学習のきっかけにする。

第2時 ねらい——郵便のとどくまでの経路について理解させる。

主 な 活 動 ・ 内 容	時間	指 導 上 の 留 意 点
1. きょう出した郵便は、どうしてそのままになっているのか話しあう。 (1) どうして、そのままになっていると思うか考えを発表する。 (2) どうすれば、「白石君にとどくのか」考える。	5分	○ 具体場面によって、予想をたてられるようにする。
2. ポストに入れられた郵便が、相手の人にとどくまでに、どんなみちを通過して行くのか予想する。 (1) 校外学習で見てきたことについて話しあう。	30分	○ 見学した場面について話し合